

令和3年度取組

1. 家庭における食育の推進

1. 家庭における食育の推進

(1) 健やかな心と体を育む生活習慣の形成

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
朝食を摂ることや早寝早起きを実践することなど、子どもの健やかな生活習慣の形成のため、「早寝早起き朝ごはん」の運動等を学校や地域等の協力を得ながら推進します。	健康・子育て支援室	「地域の広場」において「早寝早起き朝ごはん」を基本とした生活リズム定着の必要性の啓発を行います。	コロナ禍で地域の広場が中止となった時期もありましたが、生活リズムの大切さや幼児食について保健師から情報提供を行いました。
	学校教育室	「早寝早起き朝ごはん」について、学校からの通信や学校ホームページ等を活用し、保護者や地域に啓発を行い、児童の基本的な生活習慣の形成を図ります。	「早寝早起き朝ごはん」について、学校からの通信や学校ホームページ等を活用し、保護者や地域に啓発を行い、児童の基本的な生活習慣の形成を図りました。
妊娠期及び授乳期における望ましい食生活の実現のため、「妊産婦のための食生活指針」等を活用した栄養指導を行います。	健康・子育て支援室	・母子健康手帳発行教室において栄養指導を行います。 ・妊産婦へ健診の結果を基に栄養指導を行います。	・母子健康手帳発行教室を23回開催し、栄養指導を実施しました。 ・妊婦健診の結果、栄養指導が必要であった妊婦には個別指導を行いました。
「授乳・離乳の支援ガイド」に基づき、妊産婦や子どもに関わる多機関、多職種の保健医療従事者が授乳及び離乳に関する基本的事項を共有し、妊娠中から離乳の完了に至るまで、支援内容が異なることのないよう一貫した支援を推進します。	健康・子育て支援室	妊産婦や子どもに関わる多機関・他職種の関係者を対象に、「授乳・離乳の支援ガイド」の周知を行い、支援の平準化を図ります。	11月に子育て支援員研修で、離乳食について講義を行いました。
乳幼児健康相談や乳幼児健康診査等において、健やかな生活習慣の形成に向けた基本的な生活や食習慣についての指導を行います。	健康・子育て支援室	各健康診査及び健康相談において基本的な生活や食習慣について指導を行い、健やかな生活習慣の形成を図ります。	・各健康診査及び離乳食教室において指導を行いました。 乳幼児健康相談（10回） かがやき健康相談（11回） 1歳6か月児健康診査（24回） 3歳6か月時健康診査（23回） 離乳食教室（11回） ・3歳6か月時健康診査では、「早寝早起き朝ごはん」のリーフレットを用いて管理栄養士が指導を行いました。

(2) 豊かな食生活を送るための望ましい食習慣の定着

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
子どもが料理をする体験を通じて、望ましい食習慣を学び、食事を楽しむ機会を提供する活動を進めます。	健康・子育て支援室	子育て世帯の人を対象に「忙しい日におすすめ！栄養バランスのとれたごはんを作るレシピ！」をテーマに調理実習を中心とした食育講座を行います。	食育講座を開催しました。（全2回） 第1回：9月29日 「野菜を使ったごはんを作ろう」（5人参加） 第2回：11月19日 「バランスのとれたごはんを作ろう」（4人参加）
	文化生涯学習室	放課後子ども教室において調理体験事業を行います。	放課後子ども教室において、自分たちで料理をつくり、食について学ぶ調理体験を実施しました。（4回）
家族等と食卓を囲み、楽しく食事をし、コミュニケーションを図る「共食（トモシヨク）」の推進に取り組めます。	健康・子育て支援室	「共食（トモシヨク）」について市ホームページ等を用いて効果的な周知を行います。	市ホームページの食育ページの内容の充実に向け検討しました。
食に関する学習や体験活動を通じて、家庭と地域等が連携した食育の推進を図ります。	子ども家庭室	食に関する学習や体験の機会を提供する活動への支援を行います。	・市が委託しているひとり親家庭学習支援ボランティア事業において、原則第3日曜日を食育の日とし、保護者同伴の下、食に関する学習を行いました。（10回） ・市内各地で地域づくり組織などにより子ども食堂が運営されており、食材を持ち寄り子どもと一緒に料理をつくる取組が行われている地域もあります。 ・なばりこども食堂 ・こども食堂-ブックカフェ- ・つつじが丘地域「おにぎりクラブ」 ・すずらん台地域「なかよし食堂」

2. 学校、幼稚園、保育所（園）及び認定こども園等における食育の推進

(1) 学校における食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
各学校では食育担当者を位置付け、校内食育推進体制を整えるとともに、学習指導要領に基づき、各学校で作成された食育全体計画・年間指導計画により食育を推進します。	学校教育室	・各学校で作成する「学校教育計画」のうち、「食に関する指導の全体計画」及び「食に関する指導の年間指導計画」を見直し、見直しを持って計画的に取組を進めます。 ・市内の学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会を開催し、本推進計画の確認とともに各校（園）の実践交流と情報交換を行います。	・各学校の食に関する指導の年間指導計画に基づき食育を推進しました。 ・学校、幼稚園、保育所（園）、認定こども園の食育担当者等による食育実践交流会は、新型コロナウイルスの感染の急拡大を受けて、まん延防止等重点措置が適用されたため、中止となりました。
給食や昼食の時間、家庭科・特別活動はもとより、各教科や道徳科、総合的な学習の時間等を活用し、体験活動を取り入れながら食育を推進します。	学校教育室	・学校、幼保施設の食育担当者等による実践の交流で情報交換を行い、各校での取組に取り入れていきます。 ・地域や保護者と連携した体験活動を実施し、活動成果を学校からの通信や学校ホームページにて発信します。	地域や保護者と連携した体験活動を実施し、活動成果を学校からの通信や学校ホームページにて発信しました。
肥満とやせが心身の健康に及ぼす影響など健康状態の改善に必要な知識を普及するとともに、食物アレルギー等、食に関する健康課題を有する子どもに対しての個別相談体制を充実させます。	教育総務室	・健康状態の保持増進及び改善に必要な情報を学校からの通信や学校ホームページ等で発信します。 ・食物アレルギー等を有する児童の保護者と面談し、学校での対応を協議します。	・コロナ禍における健康管理も含め、健康状態の保持増進及び改善に必要な情報を保健だよりや給食だより等で発信しました。 ・食物アレルギーを有する児童の保護者と面談を行い、学校での対応等について協議を行いました。
効果的な食育推進を図るため、学校、家庭、地域、関係団体等が連携し、協力した取組を推進します。	学校教育室	市内の学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会を開催し、地域や各種団体との連携を基にした取組や、連携の工夫、家庭への朝食の必要性の啓発について情報交換を行い、各校の取組に反映します。	学校、幼稚園、保育所（園）、認定こども園の食育担当者等による食育実践交流会は、新型コロナウイルスの感染の急拡大を受けて、まん延防止等重点措置が適用されたため、中止となりました。
栄養教諭の専門性を活用する等、食に関する指導の充実に取り組み、家庭での食習慣の定着が図られるよう、学校から家庭に食育に関する情報提供を行います。	学校教育室	・担任と栄養教諭が連携し、朝ごはんの大切さや食事のマナー等についてタブレット等を活用しながら食の指導を行い、指導内容について通信やホームページ等で発信します。 ・朝の健康観察や生活リズムチェック等での朝食接種の有無を確認する取組の推進や朝食メニューコンテストへの積極的な参加の促進を行い、朝食への興味・関心の喚起を図ります。	・学年ごとに栄養教諭による朝ごはんの大切さや食事マナーの指導を行い、指導内容について学校からの通信や学校ホームページで発信し、児童が学んだことを家庭と共有しました。 ・朝の健康チェックでの朝食摂取の有無を確認する取組を引き続き推進しました。また、朝食メニューコンクールは積極的な参加の促進により7校からの応募がありました。

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
食物アレルギー疾患を持つ児童に対しては、児童の実態を把握した上で、除去食対応等安全な学校給食を提供します。	教育総務室	食物アレルギーがある児童には、「学校給食における食物アレルギー対応指針」（文部科学省）、「名張市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」等に基づき、安全を最優先に引き続き対応します。	食物アレルギーがある児童には、「学校給食における食物アレルギー対応指針」（文部科学省）、「名張市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」等に基づき、安全を最優先に引き続き対応しました。
地場産物を学校給食の食材に活用した「バリっ子給食」を推進することで、名張の自然、文化、産業等に対する児童の理解を深めるとともに、それらの生産等に携わる人たちへの感謝の気持ちを育みます。	教育総務室	「バリっ子給食」「みえ地物一番給食の日」の実施、通常給食における地場産物の活用を意識した献立作成を行うとともに、取組を学校からの通信や学校ホームページ等にて周知を図ります。	・納入業者・生産者と調整しながら、引き続き「バリっ子給食」「みえ地物一番給食の日」を推進しました。また、これらの日以外でも、地場産物の活用に取り組みました。 ・「バリっ子給食」を28回、「みえ地物一番給食の日」を22回、加えて「三重県産農畜水産物を活用した学校給食」を2回実施し、地域への理解を深め、生産等に携わる人たちへの感謝の気持ちを育みました。
学校給食において郷土料理等の伝統的な食文化を継承した献立を取り入れ、和食の継承を推進します。	教育総務室	郷土料理や行事食等を食に関する指導の全体計画に組み入れ、計画的に学校給食で提供し、和食の継承を推進します。	行事食や伝統料理を取り入れ、児童に食文化を伝えました。 4月 豆腐田楽 5月 さびらきごはん 6月 かたやき 7月 セタにゅうめん ・昔から食べられてきた食材を使用した献立、和食の献立を多く取り入れ、伝統的な和食文化を給食を通じて伝えました。
中学校給食の実施に向けた取組を進めます。	教育総務室	中学校給食の実施に向けての給食会計の公会計化や、給食施設の整備手法等を検討を行います。	中学校給食の実施に向けての新たな整備方式について、他の方式と比較検討しました。

（２）幼稚園・保育所（園）及び認定こども園等における食育の推進学校における食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和３年度事業計画	令和３年度実施報告
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、各幼稚園、保育所（園）及び認定こども園等で作成された食育計画に沿った食育を推進します。	保育幼稚園室	・各幼保施設において作成の食育計画に基づき食育を推進を推進します。 ・学校、幼保施設の食育担当者を対象とした食育実践交流会に参加し情報交換を行います。	・各幼保施設（２９施設）にて作成の食育計画に基づき食育を推進しました。 ・学校、幼稚園、保育所（園）及び認定こども園の食育担当者等による食育実践交流会は中止となり、蔵持こども園の食育実践報告は、令和４年度に延期となりました。
自ら進んで食べようとする気持ちを育てるために、食べ物への興味や関心を高める活動を取り入れます。	保育幼稚園室	教育・保育活動の中で、子どもたちの食べ物への興味や関心の向上が見込まれる活動を多く取り入れます。	・食べ物や野菜に関する絵本を整え、園庭では米や季節の野菜を栽培し水やりや草引きをしながら育てました。 ・育てた野菜を給食でいただくなど、年齢や発達に応じた教育保育活動を展開し、食べ物への興味や関心を高める取組を行いました。 ・１１月２４日の「和食の日」に合わせて、給食にだしを使った献立「さつまいもの味噌汁」を取り入れ、子どもたちにだしの話をしました。
自然の恵みとしての食材や、調理してくれた人への感謝の気持ちを育むよう努めます。	保育幼稚園室	・地域や保護者の協力を得ながら栽培活動を多く取り入れます。 ・栽培、収穫した食べ物を給食に取り入れ、自然の恵みとしての食材料を認識し、感謝の気持ちと命を大切にすることを育む取組を行います。	・園庭での米や季節の野菜の栽培、食事の前の「いただきます」の挨拶など、年齢や発達に応じた教育保育活動を展開し、食材や調理してくれた人への感謝の気持ちを育む取組を行いました。 ・保育所・認定こども園、地域型保育施設の２６施設ではＮＰＯ法人から寄贈された米を調理して食し、お礼の手紙を渡しました。
友達と楽しく食べられるよう、和やかな雰囲気づくりを心掛けます。	保育幼稚園室	新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め、子どもたちが楽しく食事ができる和やかな雰囲気づくりに取り組みます。	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、昼食やおやつの時間にはパーテーションを置く、同じ方向を向いて食べる、座る間隔を空けるなどの工夫をしました。また、食事前の机や手指消毒等、清潔な環境の中で、子どもたちが安全に楽しく食事できるようにしました。

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
地域の子育て家庭からの乳幼児の食に関する相談への対応や情報提供等に努めるほか、地域の関係機関等と連携しつつ、積極的に食育を推進します。	保育幼稚園室	在宅の子育て家庭からの乳幼児の食に関する相談の対応及び情報提供に努めます。	・国津出張なかよし広場にてさつまいものレシピ紹介、食に関する相談への対応を11月10日に開催しました。 （1組参加） ・3月18日に赤目保育所マイ保育ステーションで3組限定の食育講座を開催し、保護者の子どもの食事の悩み等について管理栄養士が指導しました。
子どもの発育及び発達過程に応じた食事の提供、食育の実施が行えるよう家庭や地域の協力を得ながら推進します。	保育幼稚園室	家庭との連絡を密に取りながら、子どもの発育及び発達過程に応じた食事を提供するように努めます。	・保護者から家庭での様子を朝の受入れ時や連絡ノートからこまめに聴取し、子どもの状態を把握し発育及び発達に応じた食材の選択、調理形態に配慮しました。 市の統一献立使用施設 11施設 園独自献立 15施設 ・各幼保施設における食育計画に基づき、各年齢に応じた食育活動を実施しました。特に3歳以上児は、保育所や地域の畑で地域の協力を得ながら栽培に取り組みました。
給食献立には、旬の食材を活用し、様々な食材が味わえるようにするとともに、手作りを心掛けます。	保育幼稚園室	栄養価が高く、美味しい「旬」の食材を献立に活用し、様々な食材を味わえる給食献立の作成、手作りの給食の提供に取り組みます。	春はなばなやタケノコを使った献立（なばな味噌汁、タケノコのかき揚げ、若竹汁）を作成し、夏はスイカをデザートとして取り入れました。
保護者との連携を密にし、離乳食やアレルギー対応食など子どもの状況に応じた給食の提供に努めます。また、給食試食会や献立表を通じて食に関する情報提供を行います。	保育幼稚園室	・離乳食やアレルギー対応食などは、保護者との連携を密に取って提供します。 ・レシピ紹介や食育だより、献立表を通じて保護者への食に関する情報提供を行います。	・離乳食では、保育所（園）と家庭での様子を共有し進めました。また、食物アレルギー対応食は、医師の指示書をもとに給食での対応を保護者、施設長、調理員、栄養士で協議して細心の注意を払いながら提供しました。 ・子どもの食べている様子を教室の外から見てもらったり写真を見てもらうことで、保護者に給食の情報を提供しました。 ・給食献立表や給食だよりでおやつや給食のレシピ紹介をしたり保護者への食に関する情報提供を行いました。

3. 地域及び職場における食生活改善のための取組と食文化の継承

(1) 健康寿命の延伸に向けた取組

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
ごはんを主食としながら、主菜・副菜に加え、適度に牛乳・乳製品や果物が加わった、バランスのとれた「日本型食生活」の実践を促進します。	健康・子育て支援室	「日本型食生活」に関する情報を市ホームページ等を用いて効果的な周知を行います。	市ホームページの食育ページの内容の充実に向け検討しました。
市内の高校等と連携をとり、「日本型食生活」の実践に向けた具体的な取組の情報提供を行います。また、生徒・学生が自ら発信することで、情報拡散へとつなげる取組を支援します。	健康・子育て支援室	高校等における食育の取組についての情報を収集を行います。	3月11日に名張市食生活改善推進協議会が名張青峰高校で食育講座を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により教材のみの提供となりました。
健康づくりを推進する計画である「健康なばり21計画」を通して、健全な食生活の実践につながる取組を推進します。	健康・子育て支援室	生活習慣病の発症予防と重症化予防に重点を置き、健康教室等で健全な食事や運動について指導を行います。	緊急事態宣言が終了後、地域において健診結果説明会を実施し、食事や運動など生活習慣について指導しました。
歯と口腔の健康づくりの推進を目的とした「歯と口腔の健康づくり計画」と連動し、食育を推進します。	健康・子育て支援室	口腔機能の低下による低栄養を防ぐため、オーラルフレイルの重症化予防に取り組みます。	・地域の健康教育で、オーラルフレイルについて啓発しました。 ・健診結果説明会において75歳以上のオーラルフレイル指導対象者へ歯科衛生士が個別指導を行いました。 (42人)
低栄養予防やフレイル予防といった高齢者の活力を維持する食育を推進します。	介護・高齢支援室	単身・高齢者世帯の方に、市の配食サービス事業や各地域での配食ボランティア活動により、栄養バランスの取れた食事の提供を継続して行うとともに、低栄養予防やフレイル予防に係る啓発を行います。	単身・高齢者世帯の方を対象に、栄養バランスの取れた食事の提供を見守り・声がけを兼ねて実施しました。 ・市配食サービス(週3回まで) 平均利用者数 142.6人 延べ18,050食 ・配食ボランティア(概ね週1回) 9地域・9団体 (6月～国津地域開始) 延べ14,079食
	健康・子育て支援室	フレイル予防の取組として健康教室等で食事や運動について指導を行います。	・地域の健康教育で、低栄養予防について啓発しました。 ・健診結果説明会にて75歳以上でBMI18.5以下の対象者に、個別に栄養指導を行いました。(20人)
栄養成分表示を活用し、自分に合った食品を選択できることで、減塩や肥満予防等の健康づくりを推進します。	健康・子育て支援室	健康教室等で健全な食事や食品の選択について指導を行います。	栄養教室等で栄養バランスの取れた食事や食品の選択についての講義を行いました。あわせて、栄養成分表示の活用についても説明しました。

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
地域で活動する食育の推進に関わるボランティア（「名張市食生活改善推進協議会」「名張市ボランティア楽食会」等）の活動を支援します。	健康・子育て支援室	食育の推進に関わるボランティアの人を対象にフォローアップ研修を行います。	・3月16日に「調理の基本」をテーマにフォローアップ研修を行いました。 ・ボランティア養成講座「栄養教室」を開講しました。（修了者8人）
企業等と連携を取り、生活習慣病の予防及び改善や健康づくりにつながる健全な食生活の実践に向けた取組を推進します。	健康・子育て支援室	企業へ健全な食生活実践を啓発するための情報提供を行います。	企業での健康教育は実施できませんでしたが、まちじゅう元気!!推進協議会の委員を通じて、健康づくり活動の情報提供を行いました。
まちじゅう元気!!リーダー、地域づくり組織等の様々な団体と、多様に連携、協働し、自然に健康になれる食環境づくりに向けた取組を推進します。	健康・子育て支援室	オンラインでの取組も含め、新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意し、各地域でまちじゅう元気!!リーダー等の活動を支援します。	・まちじゅう元気!!リーダーの地域での活動を支援しました。 ・運動や栄養、よくバリ青春体操のVOD配信（配信期間令和3年7月～令和4年3月・閲覧回数790回） ・オンライン研修（102人）

(2) 食の安心・安全に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
生産から消費までの食べ物の循環を意識し、健康な生活や環境に配慮した適切な「食」の選択が行えるよう、食品の安全性に関する情報を提供します。	市民相談室	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行います。	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行いました。
国・県等と連携を図り、食の安心・安全確保のための情報提供を行います。	農林資源室	日本型直接支払制度の一つである環境保全型農業直接支払交付金事業の推進を通じ、有機農業や化学肥料・化学合成農薬を低減する取組の推進、GAP（農業生産工程管理）認証の取得の推進による農産物の安全性、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保する取組を支援します。	伊賀農業改良普及事業協議会等との連携や環境保全型農業直接支払交付金事業の推進を通じ、有機農業や化学肥料・化学合成農薬を低減する取組の推進、GAP（農業生産工程管理）認証の取得の推進による農産物の安全性、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保する取組を支援しました。
安全と健康を考えた食品選択の実行に向け、食品表示について周知を図る取組を支援します。	市民相談室	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行います。	市役所内の情報発信コーナー等で関連するパンフレットを設置し、啓発を行いました。
	商工経済室	消費者から信頼を得る正しい食品表示について事業者へ指導を行います。	食品安全の啓発のため、8月17日に「食品表示セミナー」を開催しました。

(3) 食文化の継承に向けた食育の推進

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
料理教室や体験活動等に、郷土食や伝統料理を取り入れることにより、食文化の普及と継承につなげます。	地域経営室	・地域づくり組織等に体験活動等、食文化の継承に関わる視点を取り入れるよう呼び掛けを行います。 ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を留意しながら住民が参加できるイベントの開催の周知や協力を行います。	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大きなイベントは中止となりましたが、小さな規模の地元食材を使った料理教室や子どもたちへの食文化を伝える主催学級が感染症対策をしながら実施されました。 ・各地域において、農作物の栽培・収穫体験、配食サービスや子ども食堂などの取組も実施されました。
	文化生涯学習室	放課後子ども教室において調理体験事業を行います。	新型コロナウイルス感染症の影響により、郷土料理や伝統料理など地域の食文化を学ぶ料理体験は未実施となりました。
	学校教育室	ふるさと学習「なばり学」で郷土食や伝統料理について知り、子どもたちが体験を通して学びきっかけをつくります。	「ふるさと学習なばり学」で、小学校1年生は「名張の雑煮」、小学校5年生では「名張の食文化」を学びました。また、学校給食の献立に郷土料理や地元食材を取り入れ、郷土への理解や関心の喚起を図りました。
共食（トモシヨク）を通して、和食、食事のマナー等の食習慣が受け継がれていくように取組を支援します。	健康・子育て支援室	市民へ「共食（トモシヨク）」について市ホームページ等を用いて効果的な周知を行います。	市ホームページの食育ページの内容の充実に向け検討しました。
食品関連事業者等と連携し、名張の食文化の魅力の再発見に取り組みます。あわせて、世界の食文化やフードダイバーシティ（食の多様性）についての理解を促します。	人権・男女共同参画推進室	隠街道市に併せ市人権センターが人権啓発まちづくりリーダー養成事業として市多文化共生センターと共に「国際理解～多文化共生の意識高揚を図る 世界の食を楽しもう：国際屋台村」を出店し、市内に在住する外国人の方々の母国料理を紹介しつつ、食文化を通じた国際理解を進めます。	隠街道市が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止されたため、市多文化共生センターによる国際屋台村の出店を中止しました。
	商工経済室	食文化の魅力再発見を市内事業所の売上増加への支援の一つとして事業者へ提案します。	事業所の売上増加の支援としての個別相談会にて、食文化の魅力再発見を提案しました。

4. 生産者と消費者との交流及び地産地消における食育の推進

(1) 農林業体験を通じた取組

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
農山村地域の持つ特性や資源を活用し、農山村地域と都市住民との農林業体験等を通じた交流を支援します。	農林資源室	「市民親子体験農業さつまいもづくり」等の催しの開催を通じ、農山村と都市住民の交流を図ります。	「市民親子体験農業さつまいもづくり」を開催し、農家と市民の交流を図りました。 5月30日 苗植付け 8月1日 除草作業 10月10日 収穫 (20組71人)
市民が、余暇、生きがい、教育、子育て、福祉等、様々な目的で「農」に触れあうことができるよう、体験等の場の創出を図ります。	農林資源室	・住宅地域と農山村地域が共存する当市の地域特性を活かし、定年後の余暇活動や子育て世代の情操教育の場等、誰もが気軽に農作業を体験できる市民農園等の環境整備に努めます。 ・農業と福祉分野との連携等、他分野との連携による取組を推進します。	・南古山(53区画)及び上比奈知(33区画)の市民農園を貸し出しました。 ・新田地内の市有地を福祉農園として活用を図り、農業と福祉の両分野の連携事業について、名張市障害者アグリ雇用推進協議会へ委託して実施しました。
農林業作業体験希望者を受け入れている生産者の活動を支援します。	農林資源室	農林業作業体験希望者を受け入れている生産者の活動を支援を行います。	名張市障害者アグリ雇用推進協議会の取組を通じ、就労体験実習生を受け入れる協力農家の情報の収集に努めました。
学校等での農林業体験学習や生産現場の見学学習の機会の充実を図ります。	農林資源室	みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した学校林整備事業や森林環境教育を推進します。	小学校が実施する学校林整備事業やフィールドワーク学習等の森林環境教育推進事業、市内保育所と幼稚園を対象とした「みて・さわって・森のわくわく体験事業」を実施しました。
	学校教育室	ふるさと学習「なばり学」をきっかけとして、牛、ぶどう、メロンなど飼育・栽培の土地を訪れ、生産者の思いに触れる取組を推進します。	ふるさと学習「なばり学」の一環で社会見学や校外学習でぶどう狩りを体験し、楽しみながら生産者の思いについて学習しました。

(2) 生産者、食品関連事業者と消費者との交流に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
名張の農産物やその生産活動などを広報誌、インターネットなどを活用し紹介します。	農林資源室	・名張市の農産物を各種媒体を活用し、周知します。	青空ネット伊賀（青空市推進協議会）を活用し、市内の青空市、農産物直売所等の情報発信を行いました。
名張の農産物や加工品の即売会、マルシェ等のイベント開催の支援と情報発信を行い、生産者と消費者との交流の機会を図ります。	農林資源室	・生産者と消費者の交流イベント「とれたて！なばり2021」を開催します。	様々なイベントを同時開催するイベント「とれたて！なばり」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止しました。次年度からの「とれたて！なばり」については廃止も含め、イベントの開催手法を変更する方向性で検討を進めました。
	商工経済室	名張の農産物の直売施設である、とれたて名張交流館において、生産者が直接販売を行う「対面販売」企画を通じて、生産者と消費者との交流の機会を図ります。	とれたて名張交流館で、「対面販売」を25回開催し、生産者と消費者との交流の機会を図りました。
食品関連事業者等は、消費者と接点を有していることから、食品関連事業者等が行う健康に配慮した商品やメニューの提供、食に関する情報や知識の提供といった活動の取組を支援します。	商工経済室	事業所魅力再発見事業を通じ、食育を意識した消費者交流の有益性を事業者に啓発します。	衛生管理の方法など食の安心と衛生強化を図るため、5月25日「HACCPを上手く使ってコロナ禍でも繁盛店になるセミナー」を開催しました。
魅力的な名張ブランドの物産品を広く消費者に紹介します。	農林資源室	・市HP等を活用し、名張ブランドの特産物を広く消費者に周知します。	国の中山間地域所得確保推進事業を活用し、受託事業者とともに名張の新たな特産品開発やブランド化を図る取組を進めており、その進捗状況等を市HP上で公表しました。
	商工経済室	名張商工会議所が進めている「名張ブランド」確立を支援することによって、地元産品の広報活動を推進します。	名張商工会議所の事業展開に助言することで、ブランド確立の支援を行いました。

(3) 地産地消の取組

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
市内産農産物直売所と販売農家を支援し、市民へ地場産物を提供します。また、農産物直売所等の情報を、直売所マップや広報誌、インターネットなどを活用し紹介します。	農林資源室	・伊賀ふるさと農業協同組合などと連携し市内産農産物直売所と販売農家を支援し、市民へ地場産物を提供します。 ・「青空ネット伊賀」など活用し、市内の農産物直売所の情報を周知します。	青空ネット伊賀が作成している農産物直売所マップを活用し、直売所情報の周知に努めました。
伊賀米、伊賀牛など名張産の品質の高い地場産物の市内での消費を促進します。	農林資源室	伊賀米、伊賀牛など名張産の品質の高い地場産物の市内での消費を促進します。	伊賀米振興協議会や伊賀産肉牛生産振興協議会と連携し、地場産物の消費を促進しました。
	商工経済室	名張の農産物の直売施設である、とれたて名張交流館での売上増が市内消費の増加と捉え、取扱量の増加と売上増を図ります。	とれたて名張交流館では、構成団体の協力による新米フェアなどのイベント開催や、地域情報誌による広告、FMなばりでの情報発信、また、市内飲食店への宅配事業を実施し、地元野菜を提供するなど、周知と販売促進を行いました。
農産物の生産から加工、販売まで行う6次産業化の取組を支援します。	農林資源室	農業者と流通、加工、販売業が連携して行う6次産業化を支援します。	・国の食料産業・6次産業化交付金を活用し、中山間地域の観光果樹園等の運営の拠点となる農家カフェ等の施設整備を支援しました。 ・国の中山間地域所得確保推進事業を活用し、受託事業者とともに名張の新たな特産品開発や農産物の高付加価値化を図る取組を進めました。
	商工経済室	販路拡大を見込み6次産業化を進める事業者への支援として、商談会や販売機会の案内を含めた情報提供を行います。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、商談会や販売機会の情報を提供するものの、大部分が中止となりました。

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
学校給食等に地場産物を積極的に使用します。	教育総務室	「バリっ子給食」「みえ地物一番給食の日」の実施、通常給食における地場産物の活用を意識した献立作成を行います。	・納入業者・生産者と調整しながら、引き続き「バリっ子給食」「みえ地物一番給食の日」を推進しました。また、これらの日以外においても地場産物の活用を意識して献立作成及び発注を行いました。 ・「バリっ子給食」を28回、「みえ地物一番給食の日」を22回、加えて「三重県産農畜水産物を活用した学校給食」を2回実施し、地域のことにについて理解を深め、生産等に携わる人たちへの感謝の気持ちを育みました。
名張の農産物の情報や調理方法などを発信し、地場産物の消費につなげます。	農林資源室	地元産の農産物の加工等にかかる消費者向けの催し等の開催や情報発信を通じ、地場産物の消費拡大を図ります。	国の中山間地域所得確保推進事業を活用し、名張の新たな特産品を開発するプロセスにおいて、消費者の販売受容性を把握するため、カフェ等の飲食店や名産店と連携し、新メニューや加工品の試作、飲食店で提供等を行いました。
	商工経済室	とれたて名張交流館での売り場造成の中で農産物情報や調理方法などをポップ等で表現し、売上増・消費増を図ります。	スタッフが研修で得た知識を生かし、購買意欲を高める売場陳列や感染症対策を取り入れた売場作りを行いました。また、新鮮な地元野菜やイベント情報などをフェイスブックを通じて発信することで、売上増・消費増を目指しました。

(4) 観光交流の促進や農山村の活性化に関する取組

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
特産品である伊賀米、伊賀牛、地酒、ぶどう、お菓子などをはじめ、地元「食」を生かした観光資源の開発に取り組めます。	観光交流室	・市観光協会が販売する市内銘菓を詰め合わせた「やしんぼセット」の価格や取扱商品のリニューアルを行います。 ・「食」を盛り込んだサイクリングコースとツアー商品の造成に取り組めます。 ・赤目溪谷ライトアップイベント「幽玄の竹あかり」会場に、地元キッチンカーや特産品ブースを設置しPRに取り組めます。	・サイクリングについては、食や体験を含むコース作りに着手し、11月にモニターツアーによる検証を行いました。また、10月17日には青蓮寺周遊サイクルフェスタを開催し、コース途中の休憩所ではぶどうなどの特産品を提供し食のPRを行いました。 ・10月23日から開催している赤目溪谷「幽玄の竹あかり」会場に、地元キッチンカーを設置しているほか、11月21日には「名張の魅力発信イベント」を開催し、市内の特産品のPRと販売を行いました。
農山村地域の多様な主体が取り組む農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動を支援します。	農林資源室	条件不利地の農用地の生産活動を支援する中山間地域等直接支払制度や地域の共同活動を支援する多面的機能支払制度のほか、森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用し、農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動を支援します。	国の日本型直接支払交付金制度、三重県緑化推進協会（三重森林づくりと学びの里地域協議会）の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用し、農地、農業用施設、里山等の整備や保全活動の取組を支援しました。 中山間地域等直接支払交付金（12組織） 多面的機能支払交付金（24組織） 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（3組織）

(5) 食品ロス削減の取組

施策の取組内容	担当室	令和3年度事業計画	令和3年度実施報告
イベントや環境学習等により、食品ロス削減の推進・啓発を行います。	環境対策室	事業者と協働し、食品ロスが少なくなる料理教室を開催し、啓発を行います。	事業者と協力し、食品ロス削減レシピを掲載した啓発用冊子を作成して、ホームページへの掲載及び環境学習会などで配付しました。
	市民相談室	教育センターと連携し週末教育事業のエシカル工作教室のイベントでのパンフレットの配布等で食品ロスの啓発を行います。	教育センターと連携し週末教育事業のエシカル工作教室のイベントでのパンフレットの配布で食品ロスの啓発を実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため3回の予定が1回の開催になりました。 12月4日「年賀状の版画づくり～発泡トレイでつくる年賀状～」 (大人10人 子ども14人 計24人)
小売店や飲食店等に対し、食品ロス削減の協力依頼を行います。	環境対策室	事業系食品ロス減少を図るため、食品ロス削減に協力いただける「完食!二十面相出没店」の登録拡大に取り組めます。	コロナ禍のため「完食!二十面相出没店」登録拡大の取組を実施できませんでした。